

**申込書**

**第13期 特許明細書・意見書作成コース  
平日4日演習コース(初級)  
平成22年2月5日～2月16日 4日間(14時間)**

- 【受講対象】 特許明細書作成初心者で、基礎的な作成能力に加え、更に実務能力を高めたい方  
企業の知財部へ異動、または新規に知財担当をされる方。
- 【講師陣】 弁理士 稲葉慶和(元特許庁審査官・上級審判官) 弁理士 鈴木伸夫(元特許庁審査官・審判長)
- 【時間】 13:30～17:15 pm 【日程】2010年2月5日、9日、12日、16日、金 or 火曜日4回、計14時間
- 【会場】 (株)エイバックズーム内教室 【受講料】 60,000円(教材費含む、消費税別) 【定員】12名
- 【演習形式】 例題2は発明試作品を全員に1個ずつお渡しします。発明者の説明と質問から始め、ゼロからの明細書の起案、請求項作成、中間処理(意見書・補正手続)、特許(拒絶)査定までを、特許技術者としてなすべき手続を訓練します。上記講師により拒絶理由通知が出され、意見書・補正書作成の指導をいたします。 **3回、4回目は全員PCを持参してください。**

弁理士会会員の皆様へ  
当社は、日本弁理士会の継続研修を行う外部機関として認定されています。またこの研修は継続研修として認定を申請中です。認定後この研修を受講し、所定の手続きをすると、外部機関研修として14単位が認められる予定です。

金/火曜日、午後13:30pm～17:15pm、4回/全14時間		場所:エイバックズーム	
日程	講師	教材と演習内容	習得すべき内容
1回 3.5時間 2月5日 (金)	稲葉慶和 (授業)	オリエンテーション 特許理由10選『特許理由と拒絶理由』 明細書の起案と拒絶理由の性格及び特許理由主張の論点	審査基準にそった明細書の記載要件 事例で考える特許明細書の記載方法 『特許すべき発明』と審査官に考えさせる明細書のデザインと意見書作成のポイント
2回 3.5時間 2月9日 (火)	稲葉慶和 (演習)	特許理由10選『特許理由と拒絶理由』『例題1』 拒絶理由の解説『例題1』の意見書作成 (『例題2』、発明の内容・先行技術例等資料の説明)	発明のアイデアから明細書の起案。 明細書各項目の記載要件 発明が特許される理由をどう訴えるか、そのアピール点と表現方法
受講生は2月10日24:00pmまでに請求項案を事務局へ送付			
3回 3.5時間 2月12日 (金)	鈴木伸夫 (演習)	『例題2』提出された請求項の比較検討、発表、講師からのアドバイス 討論結果を踏まえ全員修正請求項の提出 想定される引用例の資料提供(終了時)	【請求項】の書き方、 発明把握、構成要件の捉え方、その記述の考え方
2月13日、事務局より最初の拒絶理由通知を受講生に送付			
4回 3.5時間 2月16日 (火)	鈴木伸夫 (演習)	『例題2』意見書作成あるいは補正書作成の作業 意見書の作成と発表、補正書の作成と発表 講師による査定判断とアドバイス	『新規性・進歩性がない』拒絶理由に対し引用例が2以上の場合の意見書・手続補正書の書き方

内容が一部変更になることがあります。

(エイバック特許ビジネススクール 行き)

<b>お申込はFAXでFAX 03-3292-2701</b>	
特許明細書・意見書作成 平日4日コースの受講申込書 申込書受領後お支払いのご案内をお送りします。受講料:60,000円(教材費含む、消費税別)	
職場での受講( )、企業名・部署	
個人での受講( )	TEL
受講者氏名	FAX
申込責任者	E-mail (必須)
住所・所在地 〒	印
割引対象区分 スクール修了生( ) ChinaIP誌購読先( ) (割引額はWebで確認)	
授業と演習の参考とさせていただきますので、下記の項目に をお願いします。 技術系・文系の別 技術系(電気 機械 化学 その他) 文系(法務 経理 企画・営業 その他) 過去の職歴 企業(製造業 非製造業) その他( )	